

需要創発コースの設置とその学習環境としての工房創出事業

＝ニーズの創発の実践学習を通じた新成長戦略を担う人材の育成＝

《特別経費》（高度な専門職業人養成や専門教育機能の充実）
産学連携教育（継続）

H.23-H.27年度
その後、継続

取組内容： 大学院教育、問題解決型

与えられた問題を解決するのではなく、リアルワールドに存在するトラブルの中から問題そのものを評価し、ソリューションを見出してくる力を身につける。また、そのための学習環境としての場を提供する。

教育成果：

企画力・デザイン能力：具体的な問題の中から、ニーズをつかみ、ソリューションを提案することができる力
自立性・協調性・コミュニケーション能力：チームによる活動、チームによる管理能力

学習の場の提供：

研究室、講義室に加えて、第3の学びの場の提供
何か作りたいたいとおもったときに試すことができる場の提供
現在、小規模なパイロット工房を設置

就職の際にも有効

学内インターンシップの位置づけ
(実務に最初から携わる)
プロジェクトの立ち上げから、エンジニアとしての経験
・学内で、プロトタイプを作成

・産学連携教育として、**企業での実戦経験**のある
エンジニアとともに学ぶ

→



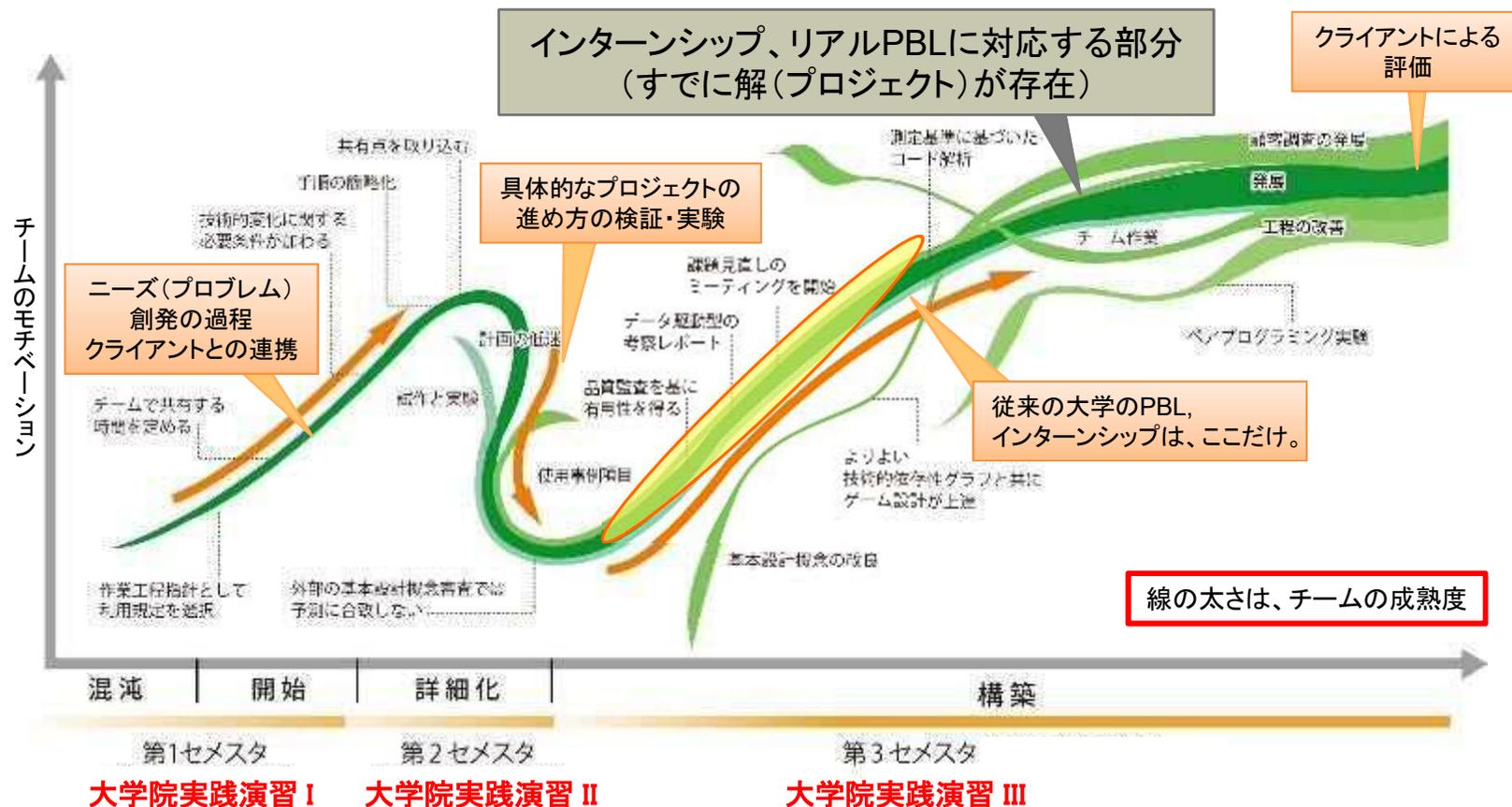
参考：ファブラボ(Fab Lab: Fabrication Laboratory)

(ほぼ)あらゆるものをつくる方法(How to make (Almost) Anything)というMITの教育で体系化したもの。3Dプリンタやカッティングマシンなど多様な工作機械を備えたワークショップを工房としてもつ。

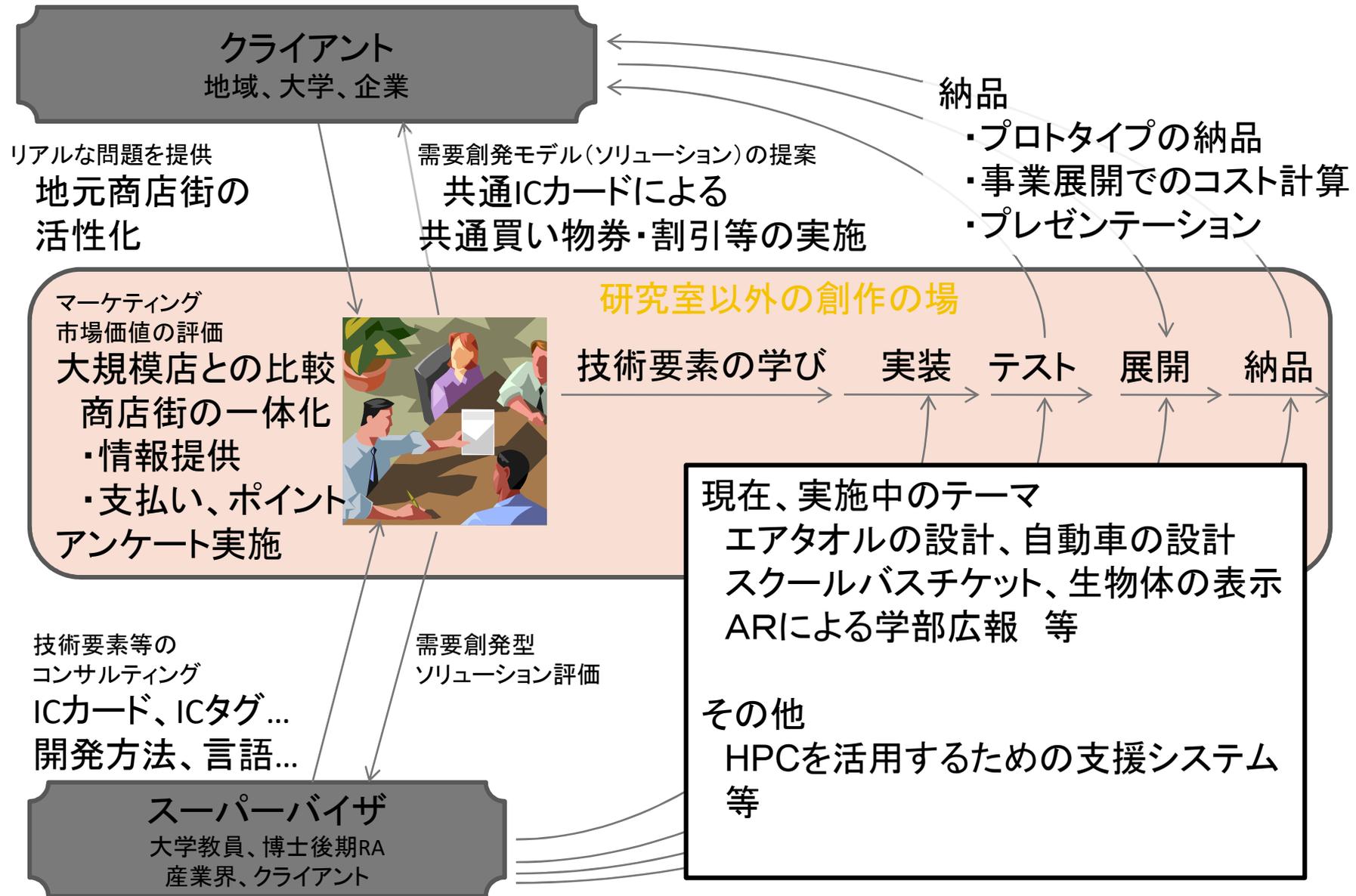
リアルワールドの問題解決の教育

— 需要創発コース —

- 何を解けばよいかを指向し、そして解を創出する
- デスバレーを超えて、チームを成熟させ、開発プロセスを体験する
- 与えられた指定の技術を身につけるのではなく、自ら学ぶ時間をつくる
- 時間の設定もチームで相談しながら実施する



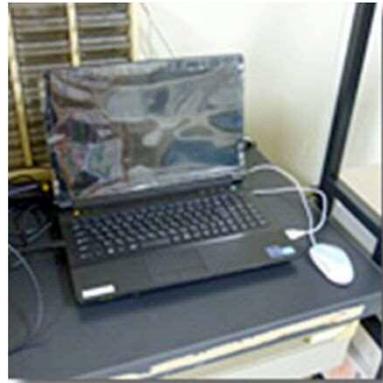
創造的・実践的な教育のきっかけ



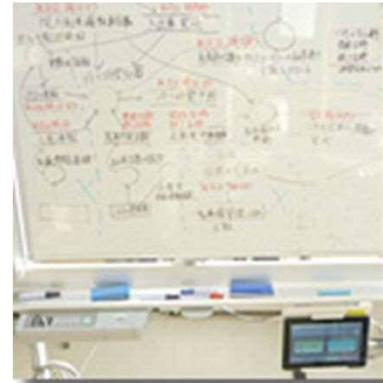
需要創発工房の現状



ミーティングルーム



ノートPCの
レンタル



クラウド接続型
ホワイトボード



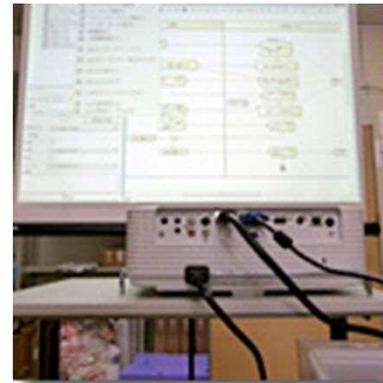
資料



ネットワーク接続型
複合機プリンタ



演習用
タブレット端末



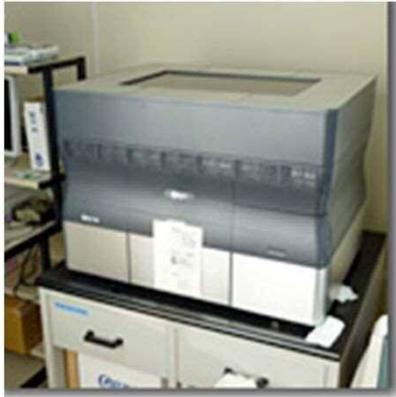
ネットワーク接続型
プロジェクタ

グループでのミーティングを研究室、講義の場とは別に実施できる環境作り

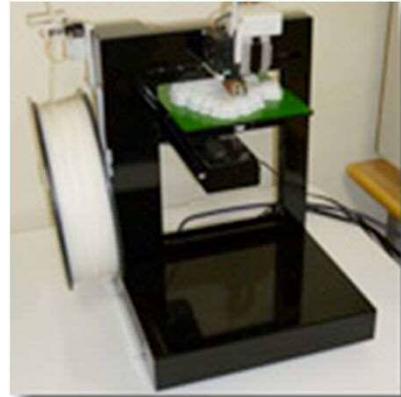
クラウド、ネットワークでも情報共有が可能な環境作り

需要創発工房ープロトタイピング

3次元プリンタ



光硬化樹脂射出
積層タイプ



ABS樹脂熱溶解射
積層タイプ



切削型



ビデオカメラ等



FPGAトレーニングボード



3D表示システム



回路設計支援器具



成績評価

- 各学期(演習I/II/III)毎の成果物に加えて、ピアレビューを参考にして評価
 - 各メンター教員が成績評価
 - ピアレビューは参考にする
 - 専門部会で成績の相互チェック
 - 最終的な成績報告会(ショートトーク + ポスターセッション)
- ピアレビュー
 - 学生間の相互評価
 - ルーブリック形式
 - 学生自身が達成すべき項目を理解できる
 - 教員側も本演習の到達すべき目標を明確にできる。

九州工業大学大学院 情報工学府 博士前期課程

需要創発コース履修登録届

※「コース履修登録届」と一緒に提出のこと

提出日：令和 年 月 日

専攻：

専門分野：

学生番号：

氏名：

携帯電話：

メールアドレス：

参加希望のプロジェクト (第1希望)

参加希望のプロジェクト (第2希望)

提出先：情報工学部大学院係 締切：5月12日(火) 17:00
